

まきどき・植えどき・収穫どき  
**どきどき情報3月**

～3月の野菜・花きの管理～

旬	種まき	栽培のポイント																									
上旬	<b>播種</b> ・ホウレンソウ ・コマツナ ・ブロッコリー ・シュンギク ・ニラ ・チンゲンサイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>種まきは、定植予定日から逆算して決めます。</li> <li>主な野菜の育苗日数は下記のとおりです。</li> <li>育苗期は温床線により夜間は13℃以上の保温を行うとともに、保温資材を用いて生育の安定を図りましょう。 (特にピーマンは高温性なので：15℃以下にはしない)</li> </ul> <b>【果菜類の育苗】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目名(作型)</th> <th>直売向き品種</th> <th>播種期</th> <th>定植期</th> <th>育苗日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トマト(露地)</td> <td>ホーム桃太郎 まごころ ミニトマト：サンチェリ</td> <td>3月中旬～</td> <td>5月中旬～</td> <td>60～65日間</td> </tr> <tr> <td>ナス(露地)</td> <td>長：千両2号 丸：早生大丸</td> <td>3月上旬～</td> <td>5月中下旬～</td> <td>70～80日間</td> </tr> <tr> <td>ピーマン(露地)</td> <td>京波</td> <td>3月上中旬～</td> <td>5月中下旬～</td> <td>70～75日間</td> </tr> </tbody> </table>	品目名(作型)	直売向き品種	播種期	定植期	育苗日数	トマト(露地)	ホーム桃太郎 まごころ ミニトマト：サンチェリ	3月中旬～	5月中旬～	60～65日間	ナス(露地)	長：千両2号 丸：早生大丸	3月上旬～	5月中下旬～	70～80日間	ピーマン(露地)	京波	3月上中旬～	5月中下旬～	70～75日間					
品目名(作型)	直売向き品種	播種期	定植期	育苗日数																							
トマト(露地)	ホーム桃太郎 まごころ ミニトマト：サンチェリ	3月中旬～	5月中旬～	60～65日間																							
ナス(露地)	長：千両2号 丸：早生大丸	3月上旬～	5月中下旬～	70～80日間																							
ピーマン(露地)	京波	3月上中旬～	5月中下旬～	70～75日間																							
中旬	<b>育苗</b> ・トマト ・ナス ・ピーマン ・レタス ・ハクサイ ・キャベツ ・チンゲンサイ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>128穴のセルトレーを利用し種を蒔き、本葉2枚の頃12cmポットへ鉢上げします</li> <li>培土はセルトレー用の育苗培土を使用しましょう。</li> </ul> <b>【葉洋菜の育苗】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目名(作型)</th> <th>直売向き品種</th> <th>播種期</th> <th>定植期</th> <th>育苗日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レタス</td> <td>ステディ 極早生シスコ</td> <td>2月上旬～ 3月下旬～</td> <td>3月下旬～ 4月下旬～</td> <td>30～40日間</td> </tr> <tr> <td>ハクサイ</td> <td>春笑 優黄</td> <td>3月上旬～</td> <td>4月中旬～</td> <td>30～40日間</td> </tr> <tr> <td>キャベツ</td> <td>春波 YR春空</td> <td>4月上旬～</td> <td>5月上旬～</td> <td>25～30日間</td> </tr> <tr> <td>チンゲンサイ</td> <td>青帝</td> <td>2月下旬～</td> <td>3月下旬～</td> <td>25～30日間</td> </tr> </tbody> </table>	品目名(作型)	直売向き品種	播種期	定植期	育苗日数	レタス	ステディ 極早生シスコ	2月上旬～ 3月下旬～	3月下旬～ 4月下旬～	30～40日間	ハクサイ	春笑 優黄	3月上旬～	4月中旬～	30～40日間	キャベツ	春波 YR春空	4月上旬～	5月上旬～	25～30日間	チンゲンサイ	青帝	2月下旬～	3月下旬～	25～30日間
品目名(作型)	直売向き品種	播種期	定植期	育苗日数																							
レタス	ステディ 極早生シスコ	2月上旬～ 3月下旬～	3月下旬～ 4月下旬～	30～40日間																							
ハクサイ	春笑 優黄	3月上旬～	4月中旬～	30～40日間																							
キャベツ	春波 YR春空	4月上旬～	5月上旬～	25～30日間																							
チンゲンサイ	青帝	2月下旬～	3月下旬～	25～30日間																							
下旬	<b>追肥</b> タマネギ  <b>春肥</b> アスパラガス ⇒若茎が伸び始めるまえに肥料をまきスムーズな萌芽を促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>レタスは128穴、アブラナ科野菜は72穴のセルトレーを利用して種をまきます。</li> <li>培土はセルトレー用の育苗培土を使用しましょう。</li> </ul> <b>ハウスの温度管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>3月は天気の変化が大きく、気温も短い周期で変動する月です。日差しも強くなり1日の温度変化も大きくなりますのでハウスの温度管理に注意しましょう。</li> <li>日差しは強くなり、日中はかなりの高温になります。</li> <li>午前10時の気温によりハウス上部の換気を行って下さい。</li> <li>午後は4時を目安に早めにハウスを閉め、保温を行いましょう。</li> </ul> (表 発芽・生育と温度 トマトの育苗温度管理を参照ください。)																									

**【タマネギの追肥】**

- 越冬したタマネギは3月中旬から生育が回復し肥料の吸収量が多くなってきます。
- 追肥は3月上旬と下旬の2回に分け1a当り野菜用の追肥肥料を4kg散布します。
- 遅い追肥は貯蔵中の腐敗を増加させますので、追肥は3月中に終わらせます。



表 発芽・生育と温度

	発芽最適温度	生育適温
トマト	25～30℃	昼 20～25℃ 夜 8～13℃
ナス	25～30℃・変温（16時間 30℃—8時間 20℃程度は発芽最適）	22～30℃（苗床では7～8℃以下にさせない）
ピーマン	28～30℃	昼 25～30℃ 夜 15～20℃
レタス	18～20℃	20℃前後
ハクサイ	13℃以上必須（目標床温 18～20℃）	18～21℃（結球期は15～18℃）
キャベツ	15～30℃	15～20℃
チンゲンサイ	20～25℃	15～20℃

※ 野菜栽培指標(平成 26 年 3 月)より



表 トマトの育苗温度管理

	播種時	播種後～発芽(3～4日間)
床温	28～30℃	25～30℃

	発芽後
気温(日中)	25℃前後
気温(夜間)	18～15℃



※ 野菜栽培指標(平成26年3月)より

## ○あさつゆ農作業安全（農業機械）講座（2月16日開催おさらい）

以下の点に注意しましょう。

小型耕運機（管理機）の取り扱いについて

### 事前点検

- ・事前に取り扱い説明書をよく読んでおく。
- ・エンジンオイルの点検 10w-30のエンジンオイルを使用し、1年に1回は交換する。
- ・ギアオイルの点検 オイルは80w-90や90番を使用しているタイプが多く点検口まで入っていること。

### 操作

- ・クラッチが入っているときはエンジンはかからない。・ひっばった紐は、静かに戻す。
- ・土を起すときは、始めに深く入れて起こすのがよい。
- ・細かい土を上にしたときは、（畝たて）逆転にする。
- ・上に、ゴロゴロした土が出てよいとき、普通に耕すときは、正転にする。
- ・旋回するときは巻き込まれないように注意する。
- ・バックするときは、後ろにパイプがあると押されて危険なので、回転数を下げてゆっくりの回転でバックする。
- ・運搬車の積み下ろし バックで登るのが基本。
- ・下りは前進で行う。
- ・代かきの後の入り口は危険なので注意する。
- ・危ないと思ったらレバーを離す

方向転換するときは、周囲に注意して、ハンドルを跳ね上げ、急なバックで転倒しないように注意！



### あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：2868-41-1063

### 技術事項作成協力

上小農業改良普及センター

電話番号：0268-25-7156(直通) FAX:0286-23-2161

## 保管

- ・機械を1ヶ月以上使わないときは燃料を抜いておく。

### 刈払機の取り扱いについて

## 事前点検

- ・事前に取り扱い説明書をよく読んでおく。
- ・各部のネジの緩み等がないか点検する。特に回転刃（チップソー等）にひび割れや欠けのあるものについては、刃を交換し刈刃取り付けネジ（左ネジ）の締め付けについては確実にを行う。肩掛けベルトも忘れずに点検する。

## 燃料

- ・2サイクルエンジン 混合ガソリンを使用する。（25対1）・オイルの説明書きに50対1の表示があれば50対1で混合し使用可能。作り置きすると酸化してしまうため自分で作る場合は使う分だけ作る。

## 操作

- ・発火音がしたらチョークは戻す。 ・冷めるとエンジンがかかる。
- ・冷却させるために、スローで冷却運転すると機械が長持ちする。
- ・防護メガネとエプロンを使用する。
- ・ポンプをペコペコ押してすぐ戻ればフィルターの状態はよいが、戻りが遅い場合はフィルターの状態が悪いので、交換する。

## 保管

- ・格納するときはガソリンを抜く。（燃料タンク内、キャブレター内）特にガソリンは入れたままにしておくと燃料タンク内スチレーナーやキャブレター内のノズルの目詰まりやダイヤフラムが固まり次回の使用時に始動困難になる。
- ・長期間使わない時は、マフラー内に泥蜂が巣を作らないようエンジン部を袋で覆っておくことも有効手段となる。

## 組合員の皆さんから ヒヤットした経験

- ・管理機でバックで起こしていたところ、固い土のところで、ケッチンをくらい倒れた。
- ・乗用田植え機で田んぼから直角に出なかつたら、斜めに傾いた。畦超えは基本は降りて行う。

# 農薬の使用方法が変更になります

## 短期暴露評価の導入により

オルトラン水和剤の登録が削除となる作物

なす、ブロッコリー、だいこん、はつかだいこん、かぶ、トマト、ミニトマト、かんきつ

オルトラン粒剤の登録が削除となる作物

ミニトマト、はつかだいこん

また、使用方法に関して変更のある作物もあります。

農薬を使用する場合は、既に使用している農薬であっても、購入先で必ず最新の情報を確認し、

「新しい使用方法にそって使用しましょう。」